



第13回湘南ひらつか囲碁まつり
1000面打ち大会

28議案を原案可決 一般会計補正予算は否決

9月定例会

審議の概要

平成二十年市議会九月定例会は、八月二十九日から九月二十五日まで、会期二十八日間で開催しました。

今定例会では、市長から初日に、地方自治法の一部改正に伴い「報酬」を「議員報酬」に改めるほか引用規定等を整備するため、関連三条例を改正する「議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例」など二議案が提案され、即日可決しました。また、「平塚市建築基準条例の一部を改正する条例」や一般会計および特別会計の補正予算など三〇案件が提案されたほか、最終

日には教育委員会委員等の人事案件が追加提案され、報告を除く三〇議案を審議し二七議案は原案どおり可決し、「平成二十年平塚市一般会計補正予算」の議案は否決しました。

議員提出の会議案では、地方自治法の改正に伴い、引用規定を整備する「平塚市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」を審議し、原案どおり可決しました。

なお、十九年度の一般会計・特別会計および病院事業の各決算の認定に係る二議案については、詳細な審査を行うため決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

一般会計補正予算

一億二七四万円の計上内容

今定例会では、一般会計補正予算として、総務費で広域避難場所案内板の更新経費等、民生費で障がい者地域作業所の法定事業所への移行支援費等、衛生費で老人保健医療事業特別会計への繰入金等の増額、農林水産費で農道および排水路の維持補修費の増額、土木費で駅西口東地の自転車・バイク駐車場建設工事費等、教育費で助成金を活用し展覧会の充実を図るための経費など、総額一億二七四万〇〇〇円を計上しました。また、債務負担行為補正で「大野小学校区放課後児童クラブ指定管理料」を追加し、地方債補正で自転車等駐車場整備費の追加とともに臨時財政対策債の限度額の変更を行うこととしていました。

本会議での討論の後、採決した結果、賛成者少数で否決しました(六面に関連記事を掲載)。

特別会計補正予算

特別会計の補正予算では、競輪事業会計で車券

が、若福祉施策の対象と位置づけられているにもかかわらず、この助成制度の対象となっていない。今回、医療機関での治療等にかかる経済的負担の軽減を目的に、同条例の対象に重度精神障がい者を加えるため、条例の一部を改正する議案が提案されました。

議案では、本議案を全議員異議なく可決しました。

教育・固定資産 評価審査の各委員 任命・選任に同意

教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員のうち、任期満了を迎える委員の後任の任命・選任について、議会の同意を求め、議案が市長から提出されました。

教育委員会委員には金子誠氏(市内田村)、川之辺潔氏(市内撫子原)の二人を任命し、固定資産評価審査委員会委員には中野善夫氏(市内出縄)を選任するものです。

議案では、各氏とも適任者として同意しました。

重度障害者の医療費 精神障がい者も助成

本市では「重度障害者の医療費の助成に関する条例」に基づき、一定等級以上の身体・知的障がい者に医療費の助成を実施しています。しかし精神障がい者については、「障害者基本法」でも障

決算特別委員会を設置 正副委員長を選出

九月定例会では、平成十九年度一般会計・特別会計および病院事業の各決算について、市長から認定を求められました。

そこで議案では、決算特別委員会を設置し、詳

紙面の構成のご案内

- 9月定例会 議案の審議結果……………1面
- 行政一般……………5面
- 行財政全般……………2面
- 討論(一般会計補正予算)……………6面
- まちづくり……………3面
- 発言通告……………7面
- 安心安全……………4面
- 教育……………8面



例会では、平成十九年度一般会計・特別会計および病院事業の各決算について、市長から認定を求められました。

そこで議案では、決算特別委員会を設置し、詳

細に審査を行うこととしました。

同委員会では、互選により委員長に金子修一(写真)、副委員長に山原栄一の両議員を選出しました。委員は坂間正昭、伊東尚美、山口聖、岩田耕平、出縄喜文の各議員です。